



山下泰裕さん (浜町出身) 祝 日本オリンピック委員会会長就任!

浜町出身の山下泰裕さんが6月27日、日本オリンピック委員会（JOC）の会長に就任されました。

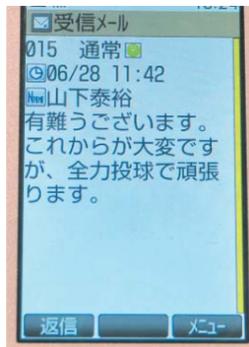
山下会長は昭和59年ロサンゼルスオリンピックの柔道無差別級で金メダルに輝き、同年10月に国民栄誉賞を受賞されました。

昭和60年には203連勝の大記録を残して引退し、柔道男子日本代表監督などを歴任。平成29年6月には全日本柔道連盟の会長に就任されています。現役時代の主な出来事と試合成績については下記の年表をご覧ください。

山下会長の近況

山下会長と旧友である上田博茂さん（城平）が、会長就任発表後に激励のメールを送ったところ、「全力投球で頑張ります」と返信が来ました。

その言葉通り連日、会長として職務に励まれている様子がテレビ等で報道されています。



「山下泰裕展」を開催

会長就任を記念して、7月2日から山都町文化交流会館「やまと文化の森」で、山下会長の柔道着などゆかりの品々を展示した「山下泰裕展」が開催されました。町内のみならず、遠くは東京や千葉など県外からも来館者があり、期間中の来館者は2,261人と、山下会長への関心の高さが伺えました。

来館された方に自由に書いていただくノートには、ロサンゼルスオリンピック優勝当時の思い出や、柔道をしている子どもたちの憧れの気持ちなど幅広い年齢層の方々からメッセージがたくさん書かれました。



↑ロサンゼルスオリンピックで獲得した金メダルのレプリカ

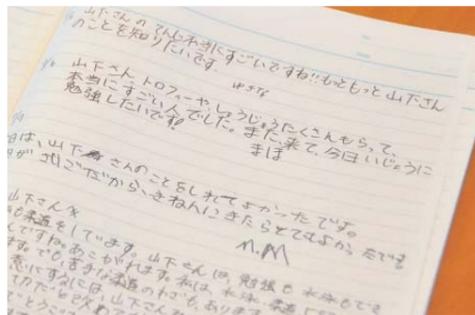
↓「ポスト山下」と言われた強敵・斉藤仁選手との試合写真



→文化の森の展示スペースに置かれたノートには、たくさんの方からの山下会長へのメッセージや、当時に思いを馳せる文章がたくさん書かれています。



↑国際試合で着用した日の丸入りの柔道着



現役時代の主な出来事と試合成績

昭和32年 旧矢部町浜町に誕生

昭和42年 藤壺道場に入門、柔道を始める

昭和45年 矢部郷青少年柔道大会で全勝、初めて柔道で優秀選手賞をもらう

昭和46年 初段に合格し、黒帯を手に入れる

昭和48年 全国大会で6試合連続1本勝ちを収め、怪童出現と注目を浴びる

昭和49年 インターハイ個人戦重量級で史上初の1年生チャンピオンとなる

昭和50年 金鷲旗大会で10戦全勝し、九州学院高校の初優勝に貢献

昭和51年 私立東海大学付属相模高校へ転入し、佐藤監督の指導を受け始める

昭和52年 全日本選手権に初出場し、3位入賞

昭和53年 金鷲旗大会で11戦全勝し相模高校の初優勝に貢献

昭和54年 個人戦重量級では2年ぶり2度目の優勝を飾る

昭和55年 初めて日本代表としてフランス国際大会に出場し、重量級で優勝

昭和56年 私立東海大学体育学部武道学科へ入学

昭和57年 全日本学生選手権で史上初の1年生チャンピオンに

昭和58年 全日本ジュニアチャンピオンになる

昭和59年 世界ジュニア選手権重量級で優勝

昭和60年 史上最年少で全日本選手権を制す(以降9連覇する)

昭和61年 全日本選抜体重別選手権95キロ超級で初優勝(以降6度優勝を飾る)

昭和62年 ソ連国際大会で95キロ超級と無差別級の2冠を制す

昭和63年 世界学生選手権無差別級で優勝

昭和64年 嘉納杯95キロ超級と無差別級で優勝を飾る

昭和65年 2年連続して全日本学生体重別試合95キロ超級と同・選手権の2冠を飾る

昭和66年 第11回世界選手権95キロ超級で金メダルを獲得

昭和67年 私立東海大学大学院体育学研究科修士課程へ進学

昭和68年 第12回世界選手権で全試合1本勝ちで95キロ超級と無差別級を制す

昭和69年 日本国際大会95キロ超級で優勝

昭和70年 嘉納杯無差別級(95キロ超級含む)で優勝。

昭和71年 私立東海大学体育学部専任講師となる

昭和72年 第13回世界選手権95キロ超級で負傷しながらも2連覇を果たす

昭和73年 ロサンゼルスオリンピック無差別級で、右足肉離れに見舞われながらも不屈の闘志で見事優勝

昭和74年 ロス五輪での優勝が評価され六段に昇段

昭和75年 史上5人目、アマスポーツ界からは初の国民栄誉賞を受賞

昭和76年 現役引退を表明

昭和77年 全日本選手権9連覇を達成

昭和78年 全日本選手権・・昭和52年〜60年に9連覇

昭和79年 全日本選抜体重別選手権・・(うち2度は全試合1本勝ちで勝利)

昭和80年 昭和52年〜58年の間に6度優勝